

平成29年2月21日

各位

会社名 日東工業株式会社  
代表者名 取締役社長 佐々木 拓郎  
(コード 6651 東証・名証第1部)  
問合せ先 広報室長 蔵 辰紀  
(TEL. 0561-64-0123)

### 「感震ブレーカー」普及への取り組み

## 地震による電気火災から伝統的町並みを守る！

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、社長：佐々木拓郎）は、公益社団法人日本建築家協会 近畿支部 奈良地域会の「伝統的町並み保全と防災」についての取り組みに賛同し、伝統的建造物群保存地区である“五條新町通り”へ「感震ブレーカー」の設置をとおして、地震時の電気火災対策の普及に取り組んでいます。

東日本大震災における火災原因の66%（※1）は電気関係の出火と言われており、大地震発生後の電気復旧時に発生する「復電（通電）火災」を防ぐ有効手段として、近年「感震ブレーカー」が注目されています。

電気火災発生を防止するためには、地域・自治体・メーカーが連携した“面”の取り組みが不可欠です。内閣府の“首都圏直下地震対策検討ワーキンググループ”は、木造住宅密集市街地での普及率を25%以上に引き上げる目標を提言しており、「感震ブレーカー」等を自主的に導入する地域の事例も少しずつ増えています。

当社は、「感震ブレーカー」の普及を通し、古い木造建築の歴史的町並みを保全・継承し、地域社会の安全な暮らしをサポートする取り組みを今後も進めてまいります。

#### ■ 奈良県五條市五條新町 伝統的建造物群保存地区



栗山邸（五條市指定文化財）



感震ブレーカー 設置状態  
(感震リレー付ホーム分電盤)



感震ブレーカー（既設用）設置状態  
感震リレー（MG4）

目的	伝統的町並みの保全と防災対策
町並みの歴史	今から約400年前の慶長13（1608）年、江戸幕府が成立してすぐに、城作りや町づくりに秀でた松倉重政が城下町として建設した町並み。歴史と共に発展した様々な建築様式が残され、国内でも有数の歴史的景観となっています。（HP： <a href="http://gojo-sin.info/index.html">http://gojo-sin.info/index.html</a> ）
施工時期	平成29年1月末までに終了
感震ブレーカー (9ヵ所設置)	<感震ブレーカー・分電盤タイプ> 感震リレー付ホーム分電盤、感震リレー（MG4）

※1. 大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会「大規模地震時の電気火災の発生抑制対策の検討と推進について」（平成27年3月）より

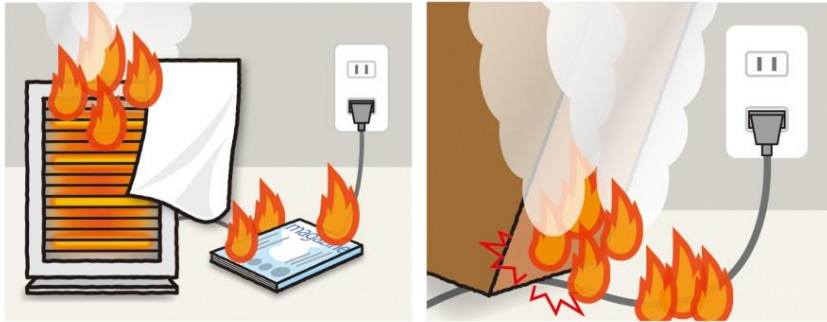
## ■ 参考資料

### 感震ブレーカーとは

一定以上の震度の地震が発生した時に、自動的に電気の供給を遮断し、電気が原因による火災を防ぐ機器全般のこと。

### 復電（通電）火災とは

停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落下した電気ストーブや破損した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起きる現象。



電源コードの被覆が破れて短絡(ショート)により発火

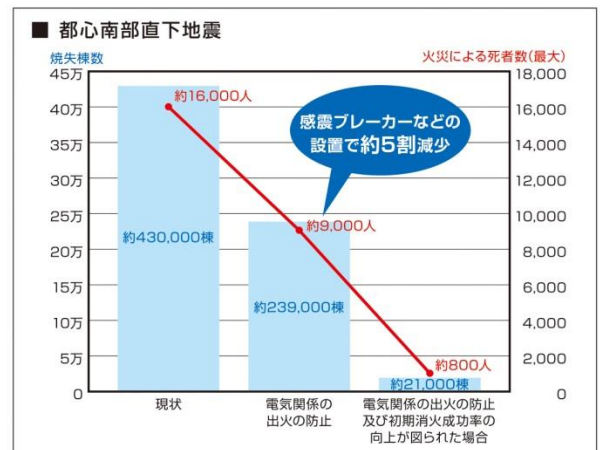
## 感震ブレーカーなどの設置で出火防止対策ができます！

- 内閣府の首都直下地震対策検討ワーキンググループでは電気関係の出火防止対策として、感震ブレーカーなどの設置を進めることにより、火災による建物焼失などが約5割減少すると予測しています。
- また、木造住宅密集市街地で感震ブレーカーの普及率を10年間で25%以上にすることを提言しています。

### 感震ブレーカーとは

「感震ブレーカー」は感震機能付きの分電盤を表し、「感震ブレーカ等」は上記のほか、コンセントタイプや簡易タイプを含め、地震の揺れを感知し電力供給を遮断する機器全般を示す。

〔平成27年2月 大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会〕  
〔「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン」より抜粋〕



〔首都直下地震の被害想定と対策について(最終報告)【別途資料1】  
～人的・物的被害(定量的な被害)～〕  
平成25年12月 内閣府 中央防災会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループより〕

以上